

国語Ⅰ・国語Ⅱ

(解答番号)

1

～

39

( )

(注意 「国語Ⅰ」の試験問題は、3ページ～38ページです。)

第4問 次の文章を読んで、後の問い(問1～6)に答えよ。(設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。)

(配点 50)

典つかさどルハ(注1)家塾シトス難ニ其人ヲ。嚴ナレバ則利チアルモ於子弟ニ而レ不能ハ久シクスルナルレバ。狎チ則利アルモ於己ニ。

而負そむク其父兄之託ニ。

頃このころ、一鉅公(注2)招客訓キヲをしヘシム子ヲ。積日業不進(注3)、蹶蹶しゆくせきトシテ欲退カント。鉅公さとリ覺之ヲ置

酒、汎シひろク引キ自リ昔名流ノ後嗣類おほむねルヲ不振ハ、且曰ツハク、「名者ハ、古今美器ニシテ(注4)、造物者深ク

吝をシム之ヲ。前人取ルコト之多ケレバ、後人豈ニ忘ニ復得タ。」士人解悟シ其迹遂安ニシ。

張無垢ちやうむ云フ、「某見レバ人家子弟ノ醇謹じゆんきん及俊敏者ナルヲ、愛スルコト之不啻たダニク如常人

之愛スルガ宝、唯恐ルルノミナラ其埋没及傷損スルヲ之ヲ。必欲使之在尊貴之所。故ニ

教フルニ人家子弟ヲ、不敢ヘテ萌きざサ一点欺心モ。其鄙下刻薄モ、亦タ為勸戒太息シテ而

感ス誘フ之ヲ。此平生所樂サント為者ナリ。今教フルニ子弟ヲ、乃チ以主人厚薄ヲ為隆殺さい、

亦可<sup>タ</sup>笑<sup>シト</sup>矣<sup>フ</sup>。」<sup>(注9)</sup> 渾<sup>こん</sup>然<sup>タル</sup>忠厚之氣、可<sup>シ</sup>敬<sup>シテ</sup>而仰<sup>グ</sup>之<sup>ヲ</sup>。

(注) 1 家塾——私設の塾。

2 鉅公——有力者、大人物。

3 蹶踏——おそれつつしむさま。

4 造物者——万物の主宰者。造物主。

5 張無垢——人名。

6 醇謹——素直でつつしみ深い。

7 鄙下刻薄——心がいやしく人情味がない。

8 感誘——感化して導く。

9 渾然——大きく、充実していること。

(周<sup>しゅう</sup>煇<sup>こう</sup>「清波雜志」による)

(イ) 息

32

⑤ ④ ③ ② ①

息 息 嘆 安 利

女 災 息 息 息

(ア) 引

31

⑤ ④ ③ ② ①

引 引 引 引 引

用 見 率 退 責

問 1 傍線部(ア)「引」・(イ)「息」と同じ意味で用いられている語として最も適当なものを、次の各群の ① ～ ⑤ のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は  ・  。

問2 傍線部A「嚴則利於子弟而不能久」・B「前人取之多、後人豈応復得」の解釈として最も適当なものを、

次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

33

・

34

A 嚴則利於子弟而不能久

33

- ① 父兄が嚴格だと、子どもの成績は向上するが、厳しく教え続けることはできない。
- ② 父兄が嚴格だと、子どもの行儀はよくなるが、厳しいしつけを長く続けることはできない。
- ③ 父兄が嚴格だと、子どもの将来にとって有利だが、長く子どもの面倒をみることはできない。
- ④ 家庭教師が嚴格だと、子どもの成績は向上するが、厳しく教え続けることはできない。
- ⑤ 家庭教師が嚴格だと、子どもの行儀はよくなるが、長く子どもの面倒をみることはできない。

B 前人取之多、後人豈応復得

34

- ① 前の人の名声の多くを獲得したからには、後の人も名声を受け継ぐことができないはずはない。
- ② 前の人の名声の多くを獲得したのだから、後の人はそれを行動の手本にすることができる。
- ③ 前の人の名声の多くを獲得したとしても、後の人が得る名声のほうは価値は高いに違いない。
- ④ 前の人の名声の多くを獲得してしまうと、後の人が名声を獲得することはむずかしい。
- ⑤ 前の人の名声の多くを獲得したとしても、後の人が名声を受け継ぐことはできない。

問3 傍線部C「士人解悟」とあるが、具体的にはだれがなにを悟ったのか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから

一つ選べ。解答番号は 35。

- ① 辞職しようとしていた家庭教師が、子どもの成績不振を責められていないことを悟った。
- ② 鉅公に雇用された家庭教師が、教え方を改めなければ解任されるであろうことを悟った。
- ③ 高給を得ていた家庭教師が、子どもの学力を向上させなければ減給されるであろうことを悟った。
- ④ 家庭教師の話聞いた鉅公が、子どもは官吏登用試験に合格できないであろうことを悟った。
- ⑤ 家庭教師に不満を持った鉅公が、名士の子孫は必ずしもよい教師だとは限らないことを悟った。

問 4 傍線部 D「必欲使之在尊貴之所」について、(a)返り点の付け方と書き下し文、(b)その解釈として最も適当なもの

を、次の各群の ①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 36 ・ 37。

(a)

36

- ① 必欲<sub>レ</sub>使<sub>レ</sub>之<sub>一</sub>在<sub>二</sub>尊貴之所<sub>一</sub> 必ず之を使はんと欲するは尊貴の在る所なり
- ② 必欲<sub>レ</sub>使<sub>レ</sub>之<sub>一</sub>在<sub>二</sub>尊貴之所<sub>一</sub> 必ず之をして尊貴の所に在らしめんと欲す
- ③ 必欲<sub>レ</sub>使<sub>レ</sub>之<sub>一</sub>在<sub>二</sub>尊貴之所<sub>一</sub> 必ず使ひの尊貴の所に在らんことを欲す
- ④ 必欲<sub>レ</sub>使<sub>レ</sub>之<sub>一</sub>在<sub>二</sub>尊貴之所<sub>一</sub> 必ず之を使ひて尊貴に在らんと欲するの所なり
- ⑤ 必欲<sub>レ</sub>使<sub>レ</sub>之<sub>一</sub>在<sub>二</sub>尊貴之所<sub>一</sub> 必ず欲して之をして尊貴に在らしむるの所ならん

(b)

37

- ① 必ず教え子を高い地位につかせてやりたいと思う。
- ② 必ず教え子を高官のもとに派遣したいと思う。
- ③ 必ず教え子を皇帝の役に立つ人物にしたいと思う。
- ④ 教え子をなんとかして出世させたいと思った結果である。
- ⑤ 教え子に正しい教育を施してやりたいと思う理由である。

問5 傍線部E「以主人厚薄為隆殺」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

38

- ① 親の評判が良ければいいに教え、評判が悪ければいいかげんに教える。
- ② 親からの報酬が多ければいいに教え、報酬が少なければいいかげんに教える。
- ③ 親のいだけ期待が大きければいいに教え、期待が小さければいいかげんに教える。
- ④ 親の性格が温厚であればいいに教え、性格が薄情であればいいかげんに教える。
- ⑤ 親との関係が親密であればいいに教え、関係が疎遠であればいいかげんに教える。

問6 本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

39

- ① 家庭教師が熱心に教えるならば、どんな子どもでもその熱意に感化されて勉学にはげむようになる。
- ② 家庭教師が熱心に教えるならば、どんな子どもにもある程度の学力を身につけさせることはできる。
- ③ 張無垢は、教え子を自分の愛弟子とするだけでなく、他の教師の教えも受けさせるべきだと考えた。
- ④ 張無垢は、教え子に対してただ学問を教えるだけでなく、その生来の性格を傷つけないように配慮した。
- ⑤ 張無垢は、どんな子どもに対しても、常に全力を尽くして教えることが教師の務めであると考えていた。